



2026年1月23日

各 位

会社名 株式会社ワキタ  
代表者名 代表取締役社長 脇田 貞二  
(コード番号 8125 東証プライム市場)  
問合せ先 取締役総務部長 成山 敦彦  
(TEL. 06-6449-1901)

### 業績予想に関するお知らせ

当社は、現時点において入手可能な情報に基づき、2025年4月11日に公表した2026年2月期の業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

#### 1. 業績予想の修正について

(1) 2026年2月期通期連結業績予想数値の修正（2025年3月1日～2026年2月28日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 100,000	百万円 6,000	百万円 6,150	百万円 3,650	円銭 73.97
今回修正予想(B)	93,000	4,800	4,950	3,050	61.66
増減額(B-A)	△7,000	△1,200	△1,200	△600	—
増減率(%)	△7.0	△20.0	△19.5	△16.4	—
(ご参考)前期実績 (2025年2月期)	92,321	6,390	6,506	3,912	79.27

(2) 2026年2月期通期個別業績予想数値の修正（2025年3月1日～2026年2月28日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 62,630	百万円 5,180	百万円 3,460	円銭 70.12
今回修正予想(B)	57,000	3,900	2,600	52.57
増減額(B-A)	△5,630	△1,280	△860	—
増減率(%)	△9.0	△24.7	△24.9	—
(ご参考)前期実績 (2025年2月期)	58,707	5,050	3,341	67.70

### (3) 修正の理由

2026年2月期の第3四半期連結累計期間の業績は2026年1月9日発表のとおり、計画対比で弱含みの水準で推移しました。当社グループは2025年4月11日に公表いたしました「2028中期経営計画」において1.店舗ネットワークの拡充、2.DXの推進、3.事業領域の拡大、4.資産効率の向上を注力方針として定めております。本年度は「飛躍への基盤造り」として建機事業では新規出店を進め2拠点を拡充し、商事事業ではM&Aによってケアレックス株式会社をグループ化し、首都圏を中心に30を超える店舗ネットワークを拡充いたしました。加えて建機販売部門で新たに仮設業界へ参入するなど各種施策は計画通り進捗し、今後も引き続き推進して参ります。第4四半期連結会計期間は売上高、売上総利益とも前年同期比では伸長する見込みながら、これまで進めてきた人材投資、設備投資及び減価償却費等の原価、販管費の増加等の「飛躍への基盤造り」に注力した先行投資に見合う売上が見込まれず、今後の業績に影響を及ぼすことが予想されますので、通期業績予想を修正いたします。

#### (連結業績予想)

連結業績予想では、売上高は当初計画と比べ70億円の減収を見込んでおり、これに伴い営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益も当初計画を下回ることが予想されます。

建機事業では当初計画を55億円下回る767億円となる見込みで、その主要因としてグループ会社を含めて建機販売部門が当初計画を39億円下回る見込みです。

商事セグメントでは当初計画を8億円下回る107億円となる見込みで、その主要因はSV部門の売上が新機種納品の遅れにより来期に持ち越されております。

不動産セグメントでは当初計画を7億円下回る56億円の見込みで、その主要因は今期売却計画にあった物件売却が先送りとなったものです。

#### (個別業績予想)

連結業績予想と同等の理由により、前回発表予想を修正いたしました。

(注) 上記の予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

尚、期末株主数に合わせ、株主優待引当金を計上いたしますが、本お知らせでの株主数は前年期末実績の25.4千名様に2025年11月末日時点の前年対比増加人数を合算した33.7千名様で算定しています。当期末に株主数が大幅に増減し、引当金計上額に変動があり、業績予想数値に修正が必要となった場合は改めて公表いたします。

また、配当予想は2025年4月11日に公表いたしました1株当たり配当金100円から修正はありません。

以上